

平成 16 年 9 月 28 日

皆さまへ

本日、当社の筆頭株主であります株式会社大京は、お取引先金融機関並びに株式会社産業再生機構に金融支援を要請致しました。金融支援により財務及び経営基盤の強化を図り、大京グループ企業各社と共にマンションの分譲・管理・仲介並びに入居者向けサービス事業等の「コア事業」に経営資源を集中させ、収益力の向上を図ることとなりました。

当社におきましてはこれを機に、賃貸稼働中の固定資産に関し、減損処理を一年前倒しで完了させ、資産及び財務体質の健全化を一挙に進めることを決定致しました。

本件の遂行により、業績への影響と致しましては、売上高及び経常利益はそれぞれ当初計画を達成の見込みでありますものの、中間純利益及び通期純利益予想は特別損失の計上によりそれぞれ純損失へと業績予想の修正を行い、また配当予想につきましても、誠に遺憾ではございますが、無配へと修正をさせて頂くことになりました。

本件の特別損失に係る処理につきましては、今後の業績並びに自己資本等を基盤にして十分対応し得る状況にありますので、今後最善の損失処理策を検討・遂行して参ると共に、業績の急回復による早期復配にも努めて参る所存であります。

また、今回の減損処理は、マンション事業の展開には何らの影響もなく、ご成約頂いておりますお客さまには、お約束した期日にマンションをお引渡しすると共に、お引渡し後も大京管理株式会社が万全の管理を担いますので、何卒ご心配になられませぬようお願い申し上げます。

当社は、「お客さま第一主義」及び「品質性能 ism」の経営方針のもと、引続き好企画・高品質「ライオンズグローバル」自社ブランドマンションの分譲に全社一丸となり取組んで参ります。従来どおり大京グループ企業の一社として、新生・株式会社大京、及び扶桑レクセル株式会社、並びにその他グループ企業各社と事業協力を図りつつ、業容の更なる拡大に努める所存でありますので、今後とも皆さま方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社グローバルス

代表取締役社長 久永 真一